

## 情勢の変化

配合飼料価格の高騰、繁殖成績の低下、国際化の進展、少子高齢化、6次産業化(付加価値の向上)、消費者ニーズの多様化 など

## 課題

1. 放牧の促進等による国産飼料の活用と飼料効率の向上
2. 家畜の遺伝的能力の発揮による家畜の生産性・繁殖性の向上
3. 効率化・低コスト化による畜産経営の収益性向上
4. 優秀な国産遺伝資源の活用拡大と国産畜産物の差別化

## 検討の視点

### 能力に関する改良

#### 【例示】

##### <乳用牛>

泌乳持続性、生涯生産性、繁殖性、飼料利用性など

##### <肉用牛>

産肉能力、繁殖性、飼料利用性(日齢枝肉重量等)など

##### <豚>

繁殖能力、産肉能力(飼料利用性、産肉性)など

##### <鶏>

卵用:産卵率、卵重量 肉用:体重、育成率 など

### 能力向上に資する取組

#### 【例示】

##### <乳用牛>

牛群検定、後代検定、SNPを活用した評価など

##### <肉用牛>

遺伝的能力評価、SNP活用・繁殖管理など

##### <豚>

純粋種豚、能力検定、人工授精など

##### <鶏>

国と都道府県、民間による国産鶏の系統造成の推進など

家畜の改良増殖による生産性の向上